



国連グローバル・コンパクト Leaders Summit (2021年6月15~16日) 開催報告

各国首脳が CEO や国連事務総長とともに、COVID-19 からの回復のために企業の持続可能性に関する行動を加速させることを要請

2万人以上のビジネスリーダーが、各国首脳、市民社会のリーダー、国連総長とともに、国連グローバル・コンパクト Leaders Summit において、2030年までに持続可能な開発目標に向けた進捗を加速させ、2050年までにネット・ゼロを達成するために、企業の野心を高めることを呼びかけました。

以下サミットのハイライトをご紹介します。

今年の国連グローバル・コンパクト Leaders Summit においてアントニオ・グテーレス国連事務総長は、各国の首脳や数十人の最高経営責任者とともに、持続可能な復興に向けたロードマップを提供するため、気候変動、COVID-19 パンデミック、社会的・経済的不平等の悪化、野放しにされている汚職などの危機への対処法に焦点を当てました。

サミットの冒頭、グテーレス国連事務総長と国連グローバル・コンパクト理事長は次のように述べました。「前例のないレベルでのグローバルな協力があってこそ、私たちはパンデミックから立ち直り、SDGsの達成を軌道に乗せ、気候変動による最悪の影響を回避することができます。そこでビジネスは中心的な役割を担っています。企業の努力とリーダーシップが、世界全体を救えます。しかし、そのためには変革を受け入れる必要があります。すべてのセクターにおいて、2030アジェンダと気候変動に関するパリ協定が求める社会的・経済的变化を解き放つためには、より深く、より早く、より野心的な対応が必要です」。



国連グローバル・コンパクトの CEO 兼 事務局長であるサンダ・オジャンボ氏は、次のように述べました。「昨年のリーダーズ・サミットからの異常な1年間の出来事は、私たちのシステムがいかに脆弱で、社会がいかに不平等であるかを証明しました。パンデミック、経済危機、気候変動の緊急事態の中で、“business as usual” という選択肢はもはやありません。むしろ、今は野心を持つべき時です」と述べています。



また、サンダ・オジャンボ氏は、[2020年ドバイ万博と国連グローバル・コンパクトが協力し](#)、万博のグローバル・ゴールズ・ウィーク（2022年1月16日～22日）に「持続可能な開発目標ビジネス・フォーラム」を開催し、持続可能で包括的な未来に向けてさらなる行動



を促すことを発表しました。

Race to Zero キャンペーンの1周年を記念して、アロック・シャルマ国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)議長は、2050年までにネット・ゼロの世界への移行を加速させるため、ビジネスリーダーたちに強い行動を呼びかけました。「Race to Zeroは、私たちのCOP26議長国の中心となっています。私たちは、企業や投資家、都市や地域、あらゆる組織に対して、参加を呼びかけています」。「1.5度目標を達成するために自分の役割を果たすように、そして、経済界全体で気候変動対策が抵抗なく歓迎されるということを政府に明確に伝えるよう呼びかけています」。

企業、市民社会、政府、国連のリーダーたちは、100以上のグローバルセッション、地域セッション、ローカルセッションを含む26時間連続のバーチャルプログラムにて、連携や官民パートナーシップの重要性について考え、持続可能な開発目標の達成と気候変動対策の加速に向けて意欲を高めることを誓いました。

「[Elevating Ambition for Corporate Action](#)」と題した一連のセッションでは、国連グローバル・コンパクトの[今後3年間の新戦略プラン](#)が発表され、ビジネスの変革を通じて持続可能性の実現に向けた大胆かつ迅速な前進を促すことが示されました。この計画では、今世紀半ばまでのネット・ゼロへの道筋に沿って炭素排出量を削減するなど、企業の説明責任を強化することを求め、国連グローバル・コンパクトのネットワークを地域ごとにバランスよく拡大することを想定しています。また、地域レベルでの企業活動の柔軟性を高め、各国独自の状況に対応するとともに、国や地域の経済基盤である中小企業のエネルギー活用を目指しています。さらに、この計画では、2030アジェンダ

の資金調達のためのパートナーシップを含め、国連のパートナーとのビジネス面での連携強化を推進します。

また、国連グローバル・コンパクトの[SDG Ambition Accelerator programme](#)が、サステナビリティのための大胆で具体的な目標を設定し、それを達成するために、さらなる参加者を募ることも発表されました。国連グローバル・コンパクトの副議長であるポール・ポールマン氏は、国連グローバル・コンパクトとアクセントが共同で実施した「国連グローバル・コンパクト2021」、企業とCEOを対象とした調査結果について発表しました。その結果、79%のCEOが、パンデミックによって、より持続可能なビジネスモデルへの移行の必要性が浮き彫りになったと考えていることが明らかになりました。

「[Financing the 2030 Agenda and the Paris Agreement](#)」のセッションでは、[国連グローバル・コンパクト CFO タスクフォース](#)は、「統合されたSDGs投資と金融に関するCFO原則」の実施に向けた進捗状況を測定するための重要業績評価指標(KPI)を設定し、「ESG」を企業のサステナビリティ・アクションに結びつけることが、いかに投資家と企業に利益をもたらすかを訴え、さらなる企業行動を求めました。

「[Accelerating Progress Towards Setting Science Based Targets](#)」のCEOによるパネルディスカッションでは、民間企業が強い市場シグナルを発信し、革新的なソリューションを拡大して、ゼロカーボン経済に向けた具体的かつ現実的な計画を提示するとともに、グリーン・リカバリーを提唱する上で、重要な役割を果たすことが求められています。このセッションでは、[Science Based Targets イニチアチブ](#)、[国連グローバル・コンパクト](#)、[CDP](#)が発表した報告書に基づき、G7諸国の主要株価指数の中に、地球の気温上昇を1.5度ま

たは2度に抑えるという目標に沿ったものがないことが示されました。

「[The Road to Transformational Governance: Launching the business Framework for Peace, Justice and Strong Institutions](#)」のセッションでは、最近発表された[SDG16 Business Framework: A Blueprint for Transformational Governance](#)(SDG16ビジネスフレームワーク:変革するガバナンスのための青写真)に基づいて、企業文化、倫理、パフォーマンスを強化し、公的機関、法律、システムを支援するために、ESGの「G」に関する行動を加速させる方法について議論しました。

「[Uniting Against Corruption: Launch of the UN Global Compact Anti-Corruption Collective Action Playbook](#)」と題したハイレベルセッションでは、企業や市民社会、公共部門の他のステークホルダーがどのように協力して腐敗防止に取り組むことができるかを、コレクティブ・アクションの方法論に基づいた6つのステップのアプローチで説明しました。

本サミットでは、人権、環境、労働、腐敗防止に関する国連グローバル・コンパクト10原則を実践し、グローバル・ゴールの達成に向けて優れた活動を行っている「[2021 SDG Pioneers](#)」(10人の活動が高く評価されました)。

その他、日本参加の二つのセッションについてご紹介致します。

1. 国連グローバル・コンパクト2021年リーダーズ・サミットにおいて、GCNJ主催セッション「Gender equality as a key to well-being: Japan's challenge」が開催されました。SDGsランキングでは世界17位だが、ジェンダー・ギャップでは120位と遅れている日本で、ジェンダー平等を積極的に推進している企業が、実施する上での課



題やそれに対する工夫や対策を発表しました。

録画された動画は現在 UNGC・GCNJ の公式 YouTube チャンネルにて公開されております。下記 YouTube ページからご視聴いただけます。日本語字幕付きバージョンも掲載しております。

※GCNJ YouTube チャンネル:

<https://bit.ly/3q2TSSZ> 英語

<https://www.youtube.com/watch?v=LrS31674AE> 日本語字幕付き版の動画



多大なるご尽力頂きましたセッションご参加の皆様には改めてお礼を申し上げます。

## 2. UNGC と ILO 共催セッション

「Business Leadership in Times of Rising Risks of Child Labour」が開催されました。本セッションでは、政府やその他の主要なアクターと協力して児童労働の撲滅に向けた進捗を加速させるために、ビジネスリーダーが果たすべき重要な役割に焦点を当てました。また、ビジネスリーダーたちは 2021 年の行動誓約と、ポストパンデミックの世界において児童労働のないサプライチェーンを構築する方法についての見解を共有しました。GCNJ 会員企業・不二製油グループ本社株式会社 酒井代表取締役社長もご登壇されました。録画された動画は現在 UNGC 公式 YouTube チャンネルにて公開されております。

※UNGC YouTube チャンネル:

<https://youtu.be/CPeh1P-DiXw>

(不二製油グループ本社株式会社 酒井代表取締役社長がご登壇されるのは、後半の 1:16:40 ほどから 1:32:11 までのパートです)



サミットのセッションは以下リンクよりご視聴頂けます。

※UNGC YouTube チャンネル:

<https://www.youtube.com/channel/UCvGxh25-RUvCcZJXHj32Zzg>

またサミットのハイライト動画 (2 分 34 秒) はこちらです。

<https://www.youtube.com/watch?v=3Cww7AtJg9U&list=PL315PYhQ4902GdZ8JlueM995WU-5d01cS>

ご協力いただいた皆様、ご参加いただいた皆様、誠に有難うございました。

以上